## 富山県水墨美術館企画展 「江戸の遊び絵づくし」 出品リスト

富山県水墨美術館

THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAM

会期:平成30年4月6日(金)~5月13日(日)

| No   |  |  |  |  |  | 1  |
|--|--|--|--|--|--|--|
|  | 絵師名  | 絵師名(ふりがな)  | 作品名  | 作品名(ふりがな)  | 制作年代   | 版元   |
| ل  –   | はって、たかっ⁻   | て、こしらえる  |  |  |  |  |
| 1  | 歌川国芳   | うたがわくによし   | みかけハこハゐがとんだいゝ人だ  | みかけはこわいがとんだいいひとだ   | 弘化四-嘉永元年(1847-48)  | 藤岡屋彦太郎   |
| 2  | 歌川国芳   | うたがわくによし   | としよりのよふな若い人だ   | としよりのようなわかいひとだ   | 弘化四-嘉永元年(1847-48)  | 藤岡屋彦太郎   |
|  |  | うたがわくによし   | 人をばかにした人だ  | ひとをばかにしたひとだ  | 弘化四-嘉永元年(1847-48)  | 大和屋久兵衛   |
| 4  |  | うたがわくによし   | 人かたまつて人になる   | ひとかたまってひとになる   | 弘化三-嘉永元年(1846-48)  | 大和屋久兵衛   |
|  |  | うたがわくによし   | 年が寄ても若い人だ  | としがよってもわかいひとだ  | 弘化四-嘉永三年(1847-50)  | 伊場屋仙三郎   |
|  |  | うたがわよしもり   | おあひだが寄合人となる  | おあいだがよりあいひととなる   | 文久二年(1862)   | 版元未詳   |
| <del>0</del><br>7  |  | うたがわよしふじ   | からの子がよりかたまって人になる   | からのこがよりかたまってひとになる  | <b>弘化四</b> -嘉永元年(1847-48)  | 玉屋惣助   |
| <u>-</u>   |  |  |  |  |  |  |
|  |  | うたがわさだふさ   | 忠臣蔵見立人形  | ちゅうしんぐらみたてにんぎょう  | 弘化三-嘉永元年(1846-48)  | 版元未詳   |
| 9  | (無款・作者未詳)  | _  | 北国のおばけ   | ほっこくのおばけ   | 幕末期  | 版元未詳   |
|  |  | うたがわくによし   | 開運出世合躰七福神  | かいうんしゅっせがったいしちふくじん   | 天保十四-弘化三年(1843-46)   | 藤岡屋彦太郎   |
|  |  | うたがわよしふじ   | (小猫寄り集まって大猫になる)  | こねこよりあつまっておおねこになる  | 弘化四-嘉永元年(1847-48)  | 版元未詳   |
| 12   | 歌川芳藤   | うたがわよしふじ   | 五拾三次之内猫之怪  | ごじゅうさんつぎのうちねこのかい   | 弘化四-嘉永元年(1847-48)  | 版元未詳   |
| 13   | 関斎   | かんさい   | ふんだん たるまづ画   | ふんだんだるまづえ  | 弘化四-嘉永元年(1847-48)  | 小林泰治郎  |
| 4  | (無款・作者未詳)  | _  | (破れ壁に達磨[銭だるま])   | やぶれかべにだるま ぜにだるま  | 安政二年(1855)頃  | 版元未詳   |
| 15   | (無款・作者未詳)  | _  | 難義鳥  | なんぎちょう   | 安政二年(1855)頃  | 版元未詳   |
| 6  | (無款・作者未詳)  | _  | 天加羅渡利 泡喰鳥  | てんからどり あわくいどり  | 慶応四年(1868)頃  | 版元未詳   |
| <del>7</del>   | (無款・作者未詳)  | _  | 分鳥 一名カツ鳥   | ぶんどり いちめいかつちょう   | 慶応四年(1868)頃  | 版元未詳   |
| 8  | (無款・作者未詳)  | _  | 無欲の鳥   | むよくのとり   | 弘化三-嘉永元年(1846-48)  | 東盛堂  |
|  |  | うたがわくによし   | 欲といふ獣  | よくというけだもの  | 弘化四-嘉永元年(1847-48)  | 鶴屋喜右衛門か  |
|  |  | フにかれてによし   |  |  |  |  |
| 0  | (無款・作者未詳)  | = / 7 = 1  | おそろししのけだもの   | おそろししのけだもの   | 慶応元年(1865)頃  | 版元未詳   |
|  |  | えんろうさいしげみつ   | 寿と云ふ獣  | ことぶきというけもの   | 弘化-嘉永期(1844-54)頃   | 川金   |
|  |  | うたがわくによし   | 福神之図年中行事菩薩   | ふくじんのず ねんちゅうぎょうじぼさつ  | 弘化三-嘉永元年(1846-48)  | <b>彫正</b>  |
| 3  | (無款•作者未詳)  | _  | 延寿安穏之見酔  | えんじゅあんおんのみえい   | 安政期(1854-60)頃  | 版元未詳   |
| į  | ふしぎなからだ  | 一合体・あべこべ・  | ・顔三つ!?   |  |  |  |
|  |  | うたがわさだかげ   | 五子十童図  | ごしじゅうどうのず  | 天保期(1830-44)頃  | 山本屋平吉  |
|  |  | うたがわよしふじ   | 五人のあたまで十人に見ゆる  | ごにんのあたまでじゅうにんにみゆる  | 文久元年(1861)三月   | 辻岡屋文助  |
|  |  | うたがわよしふじ   | 三面六身之図   |  |  | 杉屋清兵衛  |
|  |  |  |  | さんめんろくしんのず   | 慶応三年(1867)二月   |  |
|  |  | うたがわよしとら   | 新工夫 五人十人 きようかいちらん  | しんくふう ごにんじゅうにん きょうかいちらん  | 弘化元-弘化三年(1844-46)  | 清水屋直次郎   |
|  |  | うたがわよしかず   | 五首十童遊  | ごしゅじゅうどうあそび  | 安政六年(1859)四月   | 遠州屋彦兵衛   |
| 9  |  | うたがわよしつや   | 六し十二童かくべへの図  | ろくしじゅうにどうかくべえのず  | 弘化四-嘉永三年(1847-50)  | 版元未詳   |
|  |  | うたがわくによし   | (一頭多体図 [組討の武者ほか])  | いっとうたたいず くみうちのむしゃほか  | 天保末期(1839-42)頃   | 山本屋平吉  |
| 1  | 歌川国芳   | うたがわくによし   | (一頭多体図 [長五郎長吉ほか])  | いっとうたたいず ちょうごろうちょうきちほか   | 天保末期(1839-42)頃   | 山本屋平吉  |
| 2  | 歌川国芳   | うたがわくによし   | 欠留人物更紗   | あくびどめじんぶつさらさ   | 天保後期(1838-44)頃   | 山本屋平吉  |
| 3  | 歌川国芳   | うたがわくによし   | 両面相 伊久 げどふ だるま とくさかり   | りょうめんそう いきゅう げどう だるま とくさかり   | 嘉永二-三年(1849-50)  | 井筒屋庄吉  |
|  |  | うたがわくによし   | (両面相 奇異上下見之図)  | りょうめんそう きいじょうげみのず  | 天保十二年(1841)頃   | 江崎屋辰蔵  |
|  |  | うたがわよしとら   | 道外上下見ノ図  | どうけじょうげみのず   | 文久元年(1861)十月   | 加藤屋岩蔵·清兵征  |
|  |  | うたがわよしとら   | 道外上下見之図  | どうけじょうげみのず   | 文久二年(1862)六月   | 加藤屋岩蔵・清兵行  |
|  |  | うたがわくによし   | 百色面相(あくび ほか)   | ひゃくいろめんそう あくびほか  |  | 伊勢屋三次郎   |
|  |  |  |  |  | 天保中期(1835-39)頃   |  |
|  |  | うたがわくによし   | 百色面相(目のごみ ほか)  | ひゃくいろめんそう めのごみほか   | 天保中期(1835-39)頃   | 伊勢屋三次郎   |
|  |  | うたがわよしつや   | 開運出世三面大黒天  | かいうんしゅっせさんめんだいこくてん   |  | 丸屋甚八   |
|  |  | うたがわさだふさ   | 寿三面布袋  | ことぶきさんめんほてい  | 天保十四-弘化三年(1843-46)   | 上州屋重蔵  |
| <u>·1</u>  | 小林清親   | こばやしきよちか   | 西京舞子嘉代 大坂舞子一鶴 東京藝妓小吉   | さいきょうまいこかよ おおさかまいこいっかく とうきょうげいぎしょうきち   | 明治十年代(1877-86)頃  | 松木平吉   |
| -2   | 二代 歌川芳艶  | うたがわよしつや   | 貴面之寄鏡 勝安房公・楠本正隆公・由利公正公   | きめんのよせかがみ かつあわこう・くすもとまさたかこう・ゆりきみまさこう   | 明治十一年(1878)六月  | 遠山久  |
| .3   | 二代 歌川芳艶  | うたがわよしつや   | 貴面之寄鏡 三條實美公·岩倉具視公·西郷従道卿  | きめんのよせかがみ さんじょうさねとみこう・いわくらともみこう・さいごうつぐみちきょう  | 明治十一年(1878)二月  | 遠山久  |
| 4  | 歌川広重   | ニナ エミナーフ・フェール  | 平清盛怪異を見る図  | たいらのきよもりかいいをみるず  | 天保十四-弘化三年(1843-46)   | 伊場屋久兵衛   |
|  |  | <b>つたかわひろしけ</b>  |  |  |  | D - 501/2 / \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \  |
|  |  | うたがわひろしげ<br>うたがわくによし   | 国芳もやう 正札附現金男 野晒悟助  | くによしもよう しょうふたつさけんさんおとこ のさらしこすけ   | 弘化元-三年(1844-46)  |  |
| n  |  | うたがわくによし   | 国芳もやう 正札附現金男 野晒悟助<br>源義経平知盛ノ霊ニ逢図   | くによしもよう しょうふだつきげんきんおとこ のざらしごすけ みなもとのよし つねたいらのとももりのれいにあうず   |  | 伊場屋久兵衛   |
|  | 歌川芳員   | うたがわくによし<br>うたがわよしかず   | 国芳もやう 正札附現金男 野晒悟助源義経平知盛ノ霊ニ逢図   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず   |  |  |
| =  | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>ナーアイテム   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず   | 嘉永四年(1851)   | 伊場屋久兵衛<br>伊勢屋兼吉  |
| 7<br>7   | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図<br>七福神 宝の蔵入  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)  | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉 辻岡屋文助   |
| 7<br>8   | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳<br>歌川国芳  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>!キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし  | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図<br>七福神 宝の蔵入<br>七福神岩戸の蔵開  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856)十月  | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉 辻岡屋文助 遠州屋彦兵衛  |
| 7<br>8<br>9  | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図<br>七福神 宝の蔵入<br>七福神岩戸の蔵開<br>戯遊 七福神  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856)十月<br>安政六年(1859)十一月   | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉 辻岡屋文助 遠州屋彦兵衛 丸屋徳蔵   |
| 7<br>8<br>9  | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>!キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし  | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図<br>七福神 宝の蔵入<br>七福神岩戸の蔵開<br>戯遊 七福神  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856)十月  | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉 辻岡屋文助 遠州屋彦兵衛  |
| 7<br>8<br>9<br>0   | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>春川英蝶(英笑)  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図<br>七福神 宝の蔵入<br>七福神岩戸の蔵開<br>戯遊 七福神<br>(大黒天と鼡の火消)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856)十月<br>安政六年(1859)十一月   | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉 辻岡屋文助 遠州屋彦兵衛 丸屋徳蔵   |
| 7<br>8<br>9<br>0   | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>春川英蝶(英笑)  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう  | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図<br>七福神 宝の蔵入<br>七福神岩戸の蔵開<br>戯遊 七福神<br>(大黒天と鼡の火消)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん<br>だいこくてんとねずみのひけし  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856)十月<br>安政六年(1859)十一月<br>江戸後期   | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉 辻岡屋文助 遠州屋彦兵衛 丸屋徳蔵 版元未詳  |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1  | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>春川英蝶(英笑)<br>三代歌川豊国(歌川国貞)<br>歌川広重  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう  | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん<br>だいこくてんとねずみのひけし<br>ひのえうまのぞくせつをべんず  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856)十月<br>安政六年(1859)十一月<br>江戸後期<br>弘化元-三年(1844-46)  | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉 辻岡屋文助 遠州屋彦兵衛 丸屋徳蔵 版元未詳 版元未詳   |
| 7<br>3<br>9<br>0   | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>春川英蝶(英笑)<br>三代歌川豊国(歌川国貞)<br>歌川広重<br>歌川広重  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわとよくに うたがわくにさだ<br>うたがわひろしげ   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入  七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神  (大黒天と鼡の火消)  丙午の俗説を辨ず  (有卦絵 ふ尽しのお福)  (有卦絵 大津絵の福助お福)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん<br>だいこくてんとねずみのひけし<br>ひのえうまのぞくせつをべんず<br>うけえ ふづくしのおふく<br>うけえ おおつえのふくすけおふく  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856)十月<br>安政六年(1859)十一月<br>江戸後期<br>弘化元-三年(1844-46)<br>安政二年(1855)正月<br>安政二年(1855)正月  | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉  辻岡屋文助 遠州屋彦兵衛 丸屋徳蔵 版元未詳 版元未詳 山田屋安兵衛   |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4   | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>春川英蝶(英笑)<br>三代歌川豊国歌川国貞)<br>歌川広重<br>歌川広重<br>歌川国芳   | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわとよくに うたがわくにさだ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわひろしげ   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入  七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消)  丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福)  有卦福曳の図   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん<br>だいこくてんとねずみのひけし<br>ひのえうまのぞくせつをべんず<br>うけえ ふづくしのおふく<br>うけえ おおつえのふくすけおふく<br>うけふくひきのず  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856)十月<br>安政六年(1859)十一月<br>江戸後期<br>弘化元-三年(1844-46)<br>安政二年(1855)正月<br>安政二年(1855)正月<br>安政五年(1858)四月  | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉  辻岡屋文助 遠州屋彦兵衛 丸屋徳蔵 版元未詳 版元未詳 山田屋庄次郎 辻屋安兵衛 恵比須屋庄七  |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>1<br>2<br>3<br>4  | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>春川英蝶(英笑)<br><sup>三代歌川豊国(歌川国貞)</sup><br>歌川広重<br>歌川広重<br>歌川西芳<br>歌川西芳   | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわとよくに うたがわくにさだ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん<br>だいこくてんとねずみのひけし<br>ひのえうまのぞくせつをべんず<br>うけえ ふづくしのおふく<br>うけえ おおつえのふくすけおふく<br>うけえ ふづくしのふくろくじゅ   | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856) 十月<br>安政六年(1859) 十一月<br>江戸後期<br>弘化元-三年(1844-46)<br>安政二年(1855) 正月<br>安政二年(1855) 正月<br>安政五年(1858) 四月<br>嘉永五年(1852) 五月  | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉  辻岡屋文助 遠屋彦庭 鬼屈を蔵 版元未詳 版元未詳 以田屋安兵衛 恵比屋安兵屋 恵比岡屋文助   |
| 7<br>3<br>9<br>0<br>1<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6  | 歌川芳員 幸せはこぶラッ 歌川国芳 歌川国芳 歌川国芳 春川英蝶(英笑) 三代歌川豊国(歌川国貞) 歌川広重 歌川広重 歌川広 歌川方藤 歌川芳藤  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>ナーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわとよくに うたがわくにさだ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわくによし<br>うたがわよしふじ   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助)   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん<br>だいこくてんとねずみのひけし<br>ひのえうまのぞくせつをべんず<br>うけえ ふづくしのおふく<br>うけえ おおつえのふくすけおふく<br>うけえ ふづくしのふくろくじゅ<br>うけえ ふづくしのふくろくじゅ  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856) +月<br>安政六年(1859) +一月<br>江戸後期<br>弘化元-三年(1844-46)<br>安政二年(1855) 正月<br>安政二年(1855) 正月<br>安政五年(1858) 四月<br>嘉永五年(1852) 五月<br>安政五年(1858) 三月   | 伊場屋久兵衛 伊勢屋兼吉   |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7  | 歌川芳員<br>幸せはこぶラッ<br>歌川国芳<br>歌川国芳<br>泰川国芳<br>春川英蝶(英笑)<br>三代歌川曼国(歌川国貞)<br>歌川広重<br>歌川広重<br>歌川国芳<br>歌川国芳藤<br>歌川芳藤<br>歌川芳藤   | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわとめに<br>うたがわひろしげ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわくによし<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しのお福)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん<br>だいこくてんとねずみのひけし<br>ひのえうまのぞくせつをべんず<br>うけえ ふづくしのおふく<br>うけえ おおつえのふくすけおふく<br>うけえ ふづくしのふくろくじゅ<br>うけえ ふづくしのふくすけ  | 嘉永四年(1851)<br>嘉永二-五年(1849-52)<br>安政三年(1856)十月<br>安政六年(1859)十一月<br>江戸後期<br>弘化元-三年(1844-46)<br>安政二年(1855)正月<br>安政二年(1855)正月<br>安政五年(1858)四月<br>嘉永五年(1852)五月<br>安政五年(1858)三月<br>安政五年(1858)三月  | 伊場屋外 (中)   |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8   | 歌川芳員 幸せはこぶラッ 歌川国芳 歌川国芳 歌川国芳 春川東蝶(英笑) 三代歌川吳重 歌川広重 歌川広重 歌川川芳藤 歌川芳藤 歌川芳藤 歌川芳藤   | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわとよくに うたがわくにさだ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわなしよし<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入  七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消)  丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福)  有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しのお福)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん<br>だいこくてんとねずみのひけし<br>ひのえうまのぞくせつをべんず<br>うけえ ふづくしのおふく<br>うけえ おおつえのふくすけおふく<br>うけえ ふづくしのふくろくじゅ<br>うけえ ふづくしのおふく<br>うけえ ふづくしのふくすけ  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856)十月  安政六年(1859)十一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855)正月  安政二年(1855)正月  安政五年(1858)四月  嘉永五年(1858)四月  嘉永五年(1849)頃  文久元年(1861)七月  | 伊場屋外 (中)   |
| 7<br>3<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8   | 歌川芳員 幸せはこぶラッ 歌川国芳 歌川国写芳 歌川国国芳 春川東県(英笑) 三代歌川国東県 歌川国東 歌川田東東 歌川田京 歌川田芳 歌川田芳藤 歌川所芳藤 歌川芳藤 歌川勝芳藤 歌川藤よし   | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわとよくに うたがわくにさだ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわなしよし<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入  七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消)  丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しのお間)   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうず<br>しちふくじん たからのくらいり<br>しちふくじん いわとのくらびらき<br>たわむれあそび しちふくじん<br>だいこくてんとねずみのひけし<br>ひのえうまのぞくせつをべんず<br>うけえ ふづくしのおふく<br>うけえ おおつえのふくすけおふく<br>うけえ ふづくしのふくろくじゅ<br>うけえ ふづくしのおくすけ<br>うけえ ふづくしのおふく<br>うけえ ふづくしのおくすけ   | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856)十月  安政六年(1859)十一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855)正月  安政二年(1858) 正月  安政五年(1858)四月  嘉永五年(1852)五月  安政五年(1858)三月  安政五年(1862)七月  慶応三年(1867)正月  | 伊場屋外 中場屋外 中場屋外 中場屋外 中場屋 東東 中   |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9  | 歌川芳員 幸せはこぶラッ 歌川男芳 歌川国国芳 歌川国国   | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわとよくに うたがわくにさだ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわくによし<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 お尽しの福助) (有卦絵 お尽しの福助) (有卦絵 おるの面)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけ うけえ ふづくしのおふくうけえ ふづくしのおくすけ うけえ ふづくしのおくすけ うけえ ふづくしのおふくうけえ ふづくしのおくすけ  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1858) 四月 嘉永五年(1852) 五月  安政五年(1858) 三月  安政五年(1862) 五月  安政五年(1861) 七月 慶応三年(1867) 正月  | 伊場屋<br>東<br>大兵衛<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一 |
| 7<br>3<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0   | 歌川芳員 幸せはこぶラッ 歌川男芳 歌川国男芳 歌川国国芳 春川野野(英笑) 三代歌川国国 蝶(歌川国) 歌川広広国 声 歌川所方 蔣 歌川所芳 蔣 歌川所芳 蔣 歌川所 芳 藤 歌川 藤 よし 歌川藤 よし 歌川藤 よし  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわとよくに うたがわくにさだ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわくによし<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしよし<br>うたがわよしよし<br>うたがわよしよし<br>うたがわよしよし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 な尽しのお福) (有卦絵 な尽しのお問) (有卦絵 おほの面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 福助のふ尽し身振絵)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくうけえ ふづくしのおくすけ うけえ ふづくしのおくすけ  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1855) 正月  安政五年(1852) 五月  安政五年(1858) 三月  安政五年(1858) 三月  安政五年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月   | 伊場屋<br>東<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一                                      |
| 7<br>3<br>3<br>1<br>2<br>3<br>3<br>1<br>3<br>9   | 歌川芳員 幸せはこぶラッ 歌川男芳 歌川国男芳 歌川国国芳 春川野野(英笑) 三代歌川国国 蝶(歌川国) 歌川広広国 声 歌川所方 蔣 歌川所芳藤 歌川所芳藤 歌川所  | うたがわくによし<br>うたがわよしかず<br>キーアイテム<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわとよくに うたがわくにさだ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわくによし<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 お尽しの福助) (有卦絵 お尽しの福助) (有卦絵 おるの面)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけ うけえ ふづくしのおふくうけえ ふづくしのおくすけ うけえ ふづくしのおくすけ うけえ ふづくしのおふくうけえ ふづくしのおくすけ  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1858) 四月 嘉永五年(1852) 五月  安政五年(1858) 三月  安政五年(1862) 五月  安政五年(1861) 七月 慶応三年(1867) 正月  | 伊場屋<br>東<br>大兵衛<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一 |
| 7<br>3<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>1<br>2  | 歌川芳員 幸せはこぶラッ 歌川男男芳 歌川国国英蝶(歌川国国英蝶(歌川国国英) 歌川川国王英蝶(歌川国貞) 歌川川西東東 (歌川国貞) 歌川川芳芳藤 歌川川芳芳藤 歌川川芳芳藤 歌川川藤よよし 歌川川藤 周  | うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>うたがわくによし<br>はるかわえいちょう えいしょう<br>うたがわひろしげ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわひろしげ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしふじ<br>うたがわよしよし<br>うたがわよしよし<br>うたがわよしよし  | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 福助お福の宝船) (有卦絵 福助お福の宝船) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面)   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくうけえ ふづくしのおくすけ うけえ ふづくしのおくすけ  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1855) 正月  安政五年(1852) 五月  安政五年(1858) 三月  安政五年(1858) 三月  安政五年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月   | 伊場屋<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東<br>東             |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>1<br>2<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>1<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1   | 歌川芳<br>幸せはこぶラッ<br>歌川 はこがラッ<br>歌川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川  | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわなしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしよし  | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消)  丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 福助お福の宝船) (有卦絵 おほの面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 福助のふ尽し身振絵) (有卦絵 ふうふむつまし木)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおふくうけえ ふづくしのおふくうけえ ふづくしのおふくうけえ ふづくしのおくすけ うけえ ふづくしのおくすけ うけえ ふづくしのおくすけ うけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえ  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) 十月  安政六年(1859) 十一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1858) 四月 嘉永五年(1852) 五月  安政五年(1858) 三月  安政五年(1862) 五月  安政五年(1861) 七月 慶応三年(1867) 正月 慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月   | 伊場學  |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>1<br>5<br>6<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>1<br>2<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3<br>3  | 歌川 芳 は こ ぶ ラッ 歌川 芳 は こ ぶ ラッ 歌川   | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわなによし うたがわなしよい うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしい   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消)  丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 高助お福の宝船) (有卦絵 おほの面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 福助のふ尽し身振絵) (有卦絵 ふうふむつまし木)  (六歌仙) 大伴黒主   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくくうけえ ふづくしのおくすけうけえ ふづくしのおくくしかえ ふづくしのおくすけ うけえ ふづくしのおくすけ うけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ おふくのめん  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1855) 正月  安政五年(1858) 四月 嘉永五年(1852) 五月  安政五年(1858) 三月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  東次元年(1861) 五月  文化中期(1809-13) 頃   | 伊男<br>一<br>伊男<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一<br>一                                 |
| 7<br>3<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>1<br>2<br>2<br>3<br>4<br>4<br>4   | 歌川 方<br>本 せ はこぶラッ<br>歌川 古  | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわなしよし ったがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしい こうたがわよしい こうたがわよしい こうたがわらしよし ったがわらじよし ったがわらじよし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 福助お福の宝船) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 福助のふ尽し身振絵) (有卦絵 ふうふむつまし木)  (六歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 喜撰法師   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのよくけうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ おふくのめんうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふうふむつましき  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1855) 正月  安政五年(1852) 五月  安政五年(1858) 四月 嘉永五年(1858) 三月  安政五年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  東次元年(1861) 五月  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃  | 伊場<br>・  |
| 7<br>3<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>1<br>2<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>7<br>8<br>9<br>9<br>1<br>1<br>1<br>1<br>2<br>1<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>1<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>3<br>1<br>3   | 歌川   | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわとしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしなし うたがわよしなし ったがわよしなし ったがわよしなし ったがわよしなし ったがわよしなし ったがわよしなし ったがわよしなし ったがわらじよし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 大津絵の福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 福助お福の宝船) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お初のふ尽し身振絵) (有卦絵 ふうふむつまし木) こ (六歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 支屋康秀   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくくうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふくかせん おおとものくろぬしろっかせん おおとものくろぬしろっかせん ふんやのやすひで  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1855) 正月  安政五年(1852) 五月  安政五年(1858) 四月 嘉永五年(1852) 五月  安政五年(1867) 正月 慶応三年(1867) 正月 慶応三年(1867) 正月 慶応三年(1867) 正月  東次元年(1867) 正月  東次元年(1867) 正月  東次一年(1867) 正月  東次十年(1867) 正月  東次十年(1867) 正月  東次十年(1867) 正月  東次十年(1867) 正月  東次十年(1867) 正月  東次十年(1867) 正月   | 伊男<br>・  |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>6  | 歌川   | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし さるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわなしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし たがわよしよし たがわよしよし ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよし  | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 な尽しのお協) (有卦絵 な尽しのお協) (有卦絵 ないのもい) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (方卦絵 お福の面)   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくくうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふくかけのふづくしみぶりえうけえ ふうかせん おおとものくろぬしろっかせん おりわらのなりひら  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856)十月  安政六年(1859)十一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855)正月  安政二年(1855)正月  安政五年(1858)四月 嘉永五年(1852)五月  安政五年(1858)三月  安政五年(1868)三月  慶応三年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  文久元年(1861)五月  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  | 伊伊   |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>6<br>7<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7   | 歌川方は、ラッツ歌川方は、カラッツ歌川方は、カラッツ歌川がは、カラッツをは、カラッのは、カラッツをは、カラッのは、カラッのは、カラッのは、カラッツをは、カラッツをは、カラッのは、カラッのは、カラッのは、カラッのは、カラッのは、カラッのは、カラッのは、カラッのは、カラッのは、カラッをは、カラッとは、カラッをは、カラをは、カラをは、カラッをは、カラのもは、カラのでは、カラッをは、カラのでは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラのでは、カラッをは、カラのでは、カラッをは、カラのでは、カラッをは、カラのでは、カラのでは、カラのでは、カラのでは、カラのでは、カラのでは、カラッをは、カラのでは、カラのでは、カラッをは、カラのでは、カラのでは、カラッをは、カラッをは、カラのでは、 | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわとしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしなし うたがわよしなし ったがわよしなし ったがわよしなし ったがわよしなし ったがわよしなし ったがわよしなし ったがわよしなし ったがわらじよし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消)  丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 高助お福の宝船) (有卦絵 福助お福の宝船) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 高助のふ尽し身振絵) (方卦絵 高助のふ尽し身振絵) (方卦絵 高りのふ尽し身振絵) (方歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 支屋康秀 (六歌仙) 文屋康秀 (六歌仙) 在原業平  狂筆蝠寿の姿見(暫・勧進帳)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくくうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふくかせん おおとものくろぬしろっかせん おおとものくろぬしろっかせん ふんやのやすひで  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856)十月  安政六年(1859)十一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855)正月  安政二年(1855)正月  安政五年(1858)四月 嘉永五年(1852)五月  安政五年(1858)三月  安政五年(1868)三月  慶応三年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  文久元年(1861)五月  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  | 伊場勢  |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7  | 歌川方は、ラッツ歌川方は、カラッツ歌川方は、カラッツ歌川がは、カラッツをは、カラッのは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッツをは、カラッをは、カラッをは、カラッツをは、カラッをは、カラをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラののは、カラをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラをは、カラをは、カラッをは、カラッをは、カラッをは、カラのもは、カラののは、カラののは、カラののは、カラののは、カラののは、カラののは、カラののは、カラののは、カラののは、カラののは、カラッとは、カラのののは、カラのののは、カラのののは、カラのののは、カラッとは、カラのののは、カラのののは、カラのののは、カラのののは、カラののののは、カラのののは、カラののののは、カラのののは、カラのののは、カラのののは、カラのののは、カラののののは、カラののののは、カラのののののののののの   | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし さるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわなしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし たがわよしよし たがわよしよし ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよしい ったがわよし  | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消)  丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福助お福) 有卦経 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 高助お福の宝船) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 高助のふ尽し身振絵) (方卦絵 ふうふむつまし木)  (六歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 支屋康秀 (六歌仙) 在原業平  狂筆蝠寿の姿見(暫・勧進帳)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくくうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふくかけのふづくしみぶりえうけえ ふうかせん おおとものくろぬしろっかせん おりわらのなりひら  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1855) 正月  安政五年(1858) 四月 嘉永五年(1852) 五月  安政五年(1858) 三月  豪永二年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  東次元年(1867) 正月  東次元年(1861) 五月  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃   | 伊伊勢  |
| 7<br>3<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>3<br>7<br>3<br>8<br>9<br>7<br>8<br>9<br>7<br>8<br>9<br>9<br>7<br>8<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9  | 歌川方は、ラッツ歌川方は、カラッツ歌川方は、カラッツ歌川がは、カラッツ歌川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川   | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわなしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふし うたがわよしよし うたがわよしい うたがわよしい うたがわよしい うたがわらよし ったがわらとよし ったがわらとよし ったがわらしよし   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消)  丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 高助お福の宝船) (有卦絵 福助お福の宝船) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 高助のふ尽し身振絵) (方卦絵 高助のふ尽し身振絵) (方卦絵 高りのふ尽し身振絵) (方歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 支屋康秀 (六歌仙) 文屋康秀 (六歌仙) 在原業平  狂筆蝠寿の姿見(暫・勧進帳)  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくなけうけえ ふづくしのおくすけうけえ ふづくしのおくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ おふくのめんうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふうふむつましき  | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1855) 正月  安政五年(1858) 四月 嘉永五年(1852) 五月  安政五年(1858) 三月  豪永二年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  東次元年(1867) 正月  東次元年(1861) 五月  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃  文化中期(1809-13) 頃   | 伊伊勢  |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9<br>9   | 歌士はこうツ歌歌を表している。  「おいますが、これでは、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、  | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし したがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし うたがわよしい うたがわよしい うたがわよしい うたがわらとよし うたがわらとよし うたがわらしよし うたがわらしよし うたがわらしよし うたがわらしよし うたがわらしよし うたがわらしよし さよはらくにちか アー子と知恵くらへ かつしかほくさい かつしかほくさい かつしかほくさい かつしかほくさい うたがわひろしげ きよかわたねはる  | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お高の面) (有卦絵 お高の面) (有卦絵 高助のふ尽し身振絵) (有卦絵 ふうふむつまし木)  (六歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 支屋康秀 (六歌仙) 在原業平  狂筆蝠寿の姿見(暫・勧進帳)  狂筆蝠寿の姿見(御所五郎蔵・伽羅先代萩) 新板字づくし   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふうふむつましき   | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1855) 正月  安政五年(1852) 五月  安政五年(1858) 四月 嘉永五年(1852) 五月  安政五年(1867) 正月 慶応三年(1867) 正月 慶応三年(1867) 正月 慶応三年(1867) 正月  文化中期(1809-13) 頃   | 伊伊   |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0  | 歌一大はころで、おいますが、大きな、これでは、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで   | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし したがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわなしよし うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしい うたがわよしい うたがわらじよし うたがわらじよし うたがわらじよし うたがわらじよし ったがわらじよし ったがわらじよし ったがわらじよし ったがわらしよし ったがわらしよし ったがわらしよし  | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お初のふ尽し身振絵) (有卦絵 ふうふむつまし木)  (六歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 支屋康秀 (六歌仙) 文屋康秀 (六歌仙) 文屋康秀 (六歌仙) 在原業平 狂筆蝠寿の姿見(暫・勧進帳) 狂筆蝠寿の姿見(暫・勧進帳) 狂筆蝠寿の姿見(御所五郎蔵・伽羅先代萩) 新板字づくし   | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけあふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふくかせん おおとものくろぬしろっかせん おおとものくろぬしろっかせん ありわらのなりひらきょうひつふくじゅのすがたみ しばらく・かんじんちょうきょうひつふくじゅのすがたみ ごしょのごろぞう・めいぼくせんだいはぎしんぱんじづくし   | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856)十月  安政六年(1859)十一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855)正月  安政二年(1855)正月  安政五年(1858)四月 嘉永五年(1852)五月  安政五年(1858)三月  安政五年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  文久元年(1861)五月  文化中期(1809-13)頃  文代中期(1809-13)词  | 伊伊   |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>3<br>1<br>4<br>1<br>1<br>2<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1  | 歌 十七 は まず で  | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし さんがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわらじよし うたがわらじよし うたがわらじよし うたがわらじよし ったがわらじよし ったがわらじよし ったがわらじよし ったがわらじよし ったがわらしよし ったがわらしよし ったがわらしよし ったがわらしよし ったがわらしよさい かつしかほくさい かつしかほくさい かつしかほくさい ったがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわしるし ったがわひろしげ   | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 な尽しのお福) (有卦絵 なるしのおる) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お高の声し身振絵) (大歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 文屋康秀 (六歌仙) 文屋康秀 (六歌仙) 文屋康秀 (六歌仙) 在原業平 狂筆蝠寿の姿見(御所五郎蔵・伽羅先代萩) 新板字づくし しん板文字絵つくし (享保九年大小暦草稿 [西行法師]) | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくなけうけえ ふづくしのおくすけうけえ ふづくしのおくすけうけえ ふづくしのおくすけうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふくかけのふづくしみぶりえうけえ ふうかせん おおとものくろぬしろっかせん おおとものくろぬしろっかせん ありわらのなりひらきょうひつふくじゅのすがたみ しばらく・かんじんちょうきょうひつふくじゅのすがたみ こしょのごろぞう・めいぼくせんだいはぎしんぱんじづくししんぱんもじえつくしきょうほうくねんだいしょうれきそうこう さいぎょうほうし            | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856)十月  安政六年(1859)十一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855)正月  安政二年(1855)正月  安政五年(1858)四月 嘉永五年(1852)五月  安政五年(1858)三月  安政五年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  文人元年(1861)五月  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京永二-五年(1849-52)  嘉永二-五年(1849-52)                                      | 伊伊   |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>2<br>3<br>4<br>2<br>2<br>3<br>4<br>4<br>5<br>6<br>7<br>7<br>8<br>8<br>9<br>9<br>0<br>1<br>1<br>2<br>2<br>3<br>4<br>4<br>7<br>8<br>8<br>9<br>9<br>9<br>0<br>1<br>1<br>2<br>1<br>2<br>1<br>2<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>1<br>2<br>3<br>3<br>3<br>3 | 歌子はます。 歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌歌  | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわなしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしい うたがわらよし うたがわらよし うたがわらよし うたがわらしよし うたがわらしげ うたがわしかほくさい かつしかほくさい かつしかほくさい かつしかほくさい かっしかほくさい かっしかほくさい うたがわひろしげ うたがわひろしげ きよかわたねはる うたがわこよしもり - でんゆうし | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図 七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開 戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福助お福) 有卦福曳の図 (有卦絵 ふ尽しの福財) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 高助お福の宝船) (有卦絵 高助のふ尽し身振絵) (有卦絵 福助のふ尽し身振絵) (有卦絵 高りのおしまし木)  (六歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 支屋康秀 (六歌仙) 文屋康秀 (六歌仙) 在原業平 狂筆蝠寿の姿見(暫・勧進帳) 狂筆蝠寿の姿見(御所五郎蔵・伽羅先代萩) 新板字づくし しん板文字絵つくし (享保九年大小暦草稿 [西行法師]) (明和二年大小暦 [おいらん立姿])  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくのたからぶねうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふうふむつましき ろっかせん おおとものくろぬしろっかせん おおとものくろぬしろっかせん ありわらのなりひらきょうひつふくじゅのすがたみ しばらく・かんじんちょうきょうひつふくじゅのすがたみ ごしょのごろぞう・めいぼくせんだいはぎしんぱんじづくししんぱんもじえつくしきょうほうくねんだいしょうれきそうこう さいぎょうほうしめいわにねんだいしょうれき | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856) +月  安政六年(1859) +一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855) 正月  安政二年(1855) 正月  安政五年(1858) 四月 嘉永五年(1852) 五月  安政五年(1858) 三月  臺成五年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  慶応三年(1867) 正月  文久元年(1861) 五月  文化中期(1809-13) 頃  京十二五年(1849-52)  京久元年(1861) 八月、二年(1862) 九月  幕末期  享保九年(1724) 頃  明和二年(1765) 頃 | 伊伊 辻遠丸版版山辻恵辻辻辻辻相版遠山 江江江江伊伊小版版版場勢 岡州屋元元田屋比岡岡岡岡ト元州田 崎崎崎崎場場川元元元 屋屋屋屋を未未屋安須屋屋屋屋 未屋屋 屋屋屋屋屋半未未未 全屋屋屋屋屋 は 一           |
| 7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>0<br>0<br>1<br>1<br>2<br>2<br>3<br>3<br>4<br>3<br>5<br>6<br>0<br>0<br>1<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0   | 歌士はよう。<br>歌川 は は まままま ままま ままま ままま まままま まままま まままま ま   | うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし うたがわくによし はるかわえいちょう えいしょう うたがわひろしげ うたがわひろしげ うたがわなしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしふじ うたがわよしよし うたがわよしよし うたがわよしい うたがわらよし うたがわらよし うたがわらよし うたがわらしよし うたがわらしげ うたがわしかほくさい かつしかほくさい かつしかほくさい かつしかほくさい かっしかほくさい かっしかほくさい うたがわひろしげ うたがわひろしげ きよかわたねはる うたがわこよしもり - でんゆうし | 源義経平知盛ノ霊ニ逢図  七福神 宝の蔵入 七福神岩戸の蔵開  戯遊 七福神 (大黒天と鼡の火消) 丙午の俗説を辨ず (有卦絵 ふ尽しのお福) (有卦絵 ふ尽しの福味寿) (有卦絵 ふ尽しの福禄寿) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 ふ尽しの福助) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お福の面) (有卦絵 お間のの) (有卦絵 お間のか尽し身振絵) (有卦絵 ふうふむつまし木)  (六歌仙) 大伴黒主 (六歌仙) 支屋康秀 (六歌仙) 文屋康秀 (六歌仙) 文屋康秀 (六歌仙) 在原業平 狂筆蝠寿の姿見(暫・勧進帳) 狂筆蝠寿の姿見(御所五郎蔵・伽羅先代萩) 新板字づくし しん板文字絵つくし (享保九年大小暦草稿 [西行法師]) (明和二年大小暦 [おいらん立姿]) (嘉永七年大小暦 [宝船ほか])  | みなもとのよしつねたいらのとももりのれいにあうずしちふくじん たからのくらいりしちふくじん いわとのくらびらきたわむれあそび しちふくじんだいこくてんとねずみのひけしひのえうまのぞくせつをべんずうけえ ふづくしのおふくうけえ おおつえのふくすけおふくうけえ ふづくしのふくろくじゅうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのおくのたからぶねうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふづくしのふくすけうけえ ふくすけおふくのたからぶねうけえ ふくすけのふづくしみぶりえうけえ ふうふむつましき ろっかせん おおとものくろぬしろっかせん おおとものくろぬしろっかせん ありわらのなりひらきょうひつふくじゅのすがたみ しばらく・かんじんちょうきょうひつふくじゅのすがたみ ごしょのごろぞう・めいぼくせんだいはぎしんぱんじづくししんぱんもじえつくしきょうほうくねんだいしょうれきそうこう さいぎょうほうしめいわにねんだいしょうれき | 嘉永四年(1851)  嘉永二-五年(1849-52)  安政三年(1856)十月  安政六年(1859)十一月  江戸後期 弘化元-三年(1844-46)  安政二年(1855)正月  安政二年(1855)正月  安政五年(1858)四月 嘉永五年(1852)五月  安政五年(1858)三月  安政五年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  慶応三年(1867)正月  文人元年(1861)五月  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  文化中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京代中期(1809-13)頃  京永二-五年(1849-52)  嘉永二-五年(1849-52)                                      | 伊伊   |

| 76   |          | /A 6T /2      | 4657 77 ( > 11 (S.L.) | /b D /2         | /- D /2 / 2   1   8   - 2   | 44 <i>16</i>      | ur —                    |
|--|----------|---------------|-----------------------|-----------------|-----------------------------|-------------------|-------------------------|
| 20 日間で、  | No<br>76 | 絵師名           | 絵師名(ふりがな)             | 作品名             | 作品名(ふりがな)                   | 制作年代              | 版元                      |
| 3  |          |               |                       |                 |                             |                   | 四本屋十日<br> 山本屋平吉·有田屋清右衛門 |
| 10 日で、東京の中では、日本の学生を含め、一般の学生を含め、日本の学 |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 10 日間の学   2-2-2017-12人   第の出す かく   1-2-2017-12人   1-2-2017-12- |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 22   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 33   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 64 日田田東   元の外に中毒   東京の大田大田   日本の大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 65 日本田田田   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 19   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 68 日本語画  | 86       | 歌川国貞          | うたがわくにさだ              | 役者はんじ物(瀬川路考)    | やくしゃはんじもの せがわろこう            | 文化九年(1812)        | 西村屋与八                   |
| 9   日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 19   日本の中央計画   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 19   日刊度方   かたがらくには、   |          |               | フにかわよしとら              |                 |                             |                   |                         |
| 192   192   192   1924年    |          |               | うたがわくによし              |                 |                             |                   |                         |
| 54   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 95   | 93       | 歌川貞房          | うたがわさだふさ              | 成駒屋仕入新形·音羽屋仕入新形 | なりこまやしいれしんがた・おとわやしいれしんがた    | 天保期(1830-44)頃     | 川口屋長蔵                   |
| □ 参加開発   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 68   四川田田   カたが上と応じ   木の介料   小切のからり   大で作性(1000) 中月   回が見事人   1000 日月    |          |               |                       | 妙名異相胸中五十三面      | みょうないそうきょうちゅうごじゅうさんつら       | 弘化四-嘉永元年(1847-48) | 杉屋清兵衛                   |
| 97   四川田田   ちんがわとんだ  成の介料   とびのかか  女に大生に2000年月   有け基外人   99   四川田田   ちんがわとんで  成の介料   日本でのかかり   女に大生に2000年月   有け基外人   99   四川田田   ちんがわとんで  スタッグ   日本でのかかり   大き大生に2000年月   日本学人   100   日本学   100    |          |               |                       | In a A Til      |                             |                   |                         |
| 68   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 99   別川田田   カムがわとなど。 駅の外科   おしらのから29   大元がから250   大元がから250   水田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 100 別日前男   分かからせいで   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 102  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 100  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 104  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 105   東川川原   つかがわり込いが  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 100 日川北東   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 107   20   20   20   20   20   20   20   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 1999   四月度   カたからことは   | 107      | 歌川広重          | うたがわひろしげ              |                 |                             |                   | 蔦屋吉蔵                    |
| 110   製川原学   うたがたくにと、  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 111   空川西学   うたかられてによし   無影が自然を持た。   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 112   一代 別川寿帝   方式がかえにもら   新姫かげ画原   しんぱんかげようCL   安皮工作(1893) 耳目   佐井屋富富郎   114   次川貞寿   方式がらたびで   しんぱんかがまみCL   しんぱんかげようCL   安皮工作(1897) 四月   仮元辞録   115   2年の    |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 13  1 代表   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 144 回川県第   方がからだけで (国)規模制の第3   まわせどうううきつおのよめいり   文章末期(18127-30)頃   伊護保証目的   アカノル大学を   かえもから   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 115   金藤と中海の間の   からからない   小田の本のでは   「福美化)   「本の本のでは   「本のようない   「大田の本のでは   「本のようない   「大田の本のでは   「本のようない   「大田の本のでは    |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 16   「銀水・作事未辞  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 11   日本の中央   | 115      | 三代 歌川豊国(歌川国貞) |                       |                 |                             |                   |                         |
| 118  |          |               | _                     |                 |                             |                   |                         |
| 10   20  |          |               | ー<br>うたがわ ヒ ± ロ       |                 |                             |                   |                         |
| 120   別川田貞   うたがわくにかだ   信命 (初代東東)のか)   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 121   22   22   23   23   23   24   24   24  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 123  |          |               |                       |                 |                             |                   | 上州屋重蔵・江戸屋松五郎            |
| 124 数川秀藤   |          |               |                       |                 |                             |                   | 辻文(辻岡屋文助か)              |
| 125   関連素 かんさい   様子郎し   はりこづし   お化正 = 基永元年(1846-48)   高野羅友右衛門   127   限川労藤   うたがわよしらし   しん様 手あそびづし   しんばんてあそびづし   安政五年(1858) 二月   小林巻治郎   128   阪川労廃   うたがわよしらし   鬼人皮 香箱   もんづくし こうはこ   万延元年(1860) 十月   小林巻治郎   128   欧川労産   うたがわよしら   鬼点をや後で死別   ふうりゅうさやえ おいらん   黒木二年(1849)   販元未辞   130   (無数・作者未辞)   一 (権後 正北男大黒真月づし)   さやえ こびきのず   制作年末辞   販元未辞   131   世原周別   とはらくにちか   (四合怪談 暗亡県戸板返し)   よつやかいだん おんぽうぼりといたがえし 明治十七年(1884) 十月   深沢良次郎   133   阪川周和   うたがわくにとし   新板ともみ段絵   しんぱんだたみわりえ   明治十七年(1884) 十月   深沢良次郎   133   欧川周和   うたがわくにとし   新板ともみ段絵   しんぱんだたみわりえ   明治五 エーニー第(1892-99)   森木田田郎   135   欧川男育   うたがわよしかず   たこづくし   大にづくし   大にづくし   安政日本経・第   大いがよしかず   大にづくし   大いがないと おんぱっぱりといたがえ   現治期   フルカイにとし   大いがないにとし   大いがないにとし   大いがないにとし   大いがないにとし   大いないたみのもりがわりえ   明治第   つかかがたしたし   大がおよしかず   たこづくし   大にづくし   安政日本(1884) 八月   小林巻治郎   138   欧川男育   うたがわよしかず   たこづくし   大にづくし   安政日本(1884) 八月   小林巻治郎   138   欧川男育   うたがわくによし   荷宝健愛のむだ者 (集隆堂)   にたからぐらかべのむだがき   くろこかべ   黒永元年(1848) 頃   伊藤健田部   139   欧川国野   うたがわくによし   荷宝健愛のむだ者 (集隆堂)   にたからぐらかべのむだがき   くろこかべ   黒永元年(1848) 頃   伊藤健田部   141   欧川男子   うたがわくによし   赤石砂田子び   金巻ルラみよう   東京氏年(1848) 頃   伊藤健氏前   141   欧川男子   うたがわくによし   赤石砂田子び   小田屋半兵前   142   欧川男子   うたがわらによし   赤石砂田子び   金巻ルラルよう   大田田子び   「からぐらかべのむだがき   こしか   東永元年(1841) 頃   川田屋半兵前   142   欧川国野   うたがわらによし   赤石砂田子び   金巻ルラルよう   大田子(1841) 頃   川田屋半兵前   142   欧川男子   うたがわらによし   赤石砂田子ご   七の田本日で   143   欧川男子   うたがわくによし   赤石砂田子ご   144   欧川男子   うたがわくによし   赤石砂田子ご   144   欧川男子   うたがわらによし   赤石砂田子ご   144   欧川男子   144   欧川男子   うたがなによし   赤石砂田子ご   144   欧川男子   144   144   144   144   144   144   144   144   144   144   144    |          |               |                       |                 |                             |                   | ·                       |
| 126 限川芳藤   うたがわよしふじ   しん板 手あそびづくし   しんばんであそびづくし   安設五年(1889) 二月   小林春治館   127 限川芳藤   うたがわよしふじ   もんほ 書館   もんづくしこうばこ   万延元年(1889) 十月   小林春治館   128 限川芳虎   うたがわよしとら   風流さや縁(花態)   ふうりゅうさやえ おいらん   類条工年(1849)   類系工辞   129 (網数・作者未詳)   (網蔵 恵比須天薫道具づくし)   さやえ えびずだいてどうでづくし   制作年未詳   版元未詳   版元未詳   131   屋原国暦   とよはらくにちか   (四谷管臓 地域・原)   とかやかいだん おんぼうぼりといたがえし   別治十七年(1884)   福田熊次郎   132   福州園園   とよけらくにとし   知徳と大きの国   とつやかいだん おんぼうぼりといたがえし   別治十七年(1884)   福田熊次郎   133   限川園刊   うたがらくにとし   新板たよみ接線   上のせかいだん おんぼうぼりといたがえし   別治十七年(1884)   日田熊次郎   133   限川園刊   うたがらくにとし   新板だよみ接線   しんばんだたみかわりえ   別治十七年(1884)   アスカットスカット   日田・新女郎   136   欧川秀彦   うたがらくにとし   新板だる声限   しんばんだるまたこ   元治元年(1884)   小林春治館   136   欧川秀彦   うたがらくにとし   新板だる声限   しんばんだきまたこ   元治元年(1884)   小林春治館   136   欧川秀彦   うたがらくによし   荷宝蔵壁のむだ書(巣壁壁)   にたからぐらかべのむだがき   さこしかべ   塩永元年(1884)   伊場屋仙三郎   139   欧川田野   うたがらくによし   荷宝蔵壁のむだ書(巣壁壁)   にたからぐらかべのむだがき   さこしかべ   塩永元年(1844)   現 伊場屋仙三郎   140   欧川田野   うたがらくによし   荷宝蔵壁のむだ書(巣壁壁)   にたからぐらかべのむだがき   まんまで(1849)   伊場屋仙三郎   野村屋後兵衛   141   欧川田野   うたがらくによし   流行猫の田書きり   りゅうこうねこのきょうけんづくし よころほか   天保十二年(1841)   頃 川口屋手兵衛   142   欧川田野   うたがらくによし   流行猫の狂言づくし(中国所注か)   りゅうこうねこのきょうけんづくし よころほか   天保十二年(1841)   頃 川口屋手兵衛   142   欧川田野   うたがらくによし   流行猫の狂言づくし(中国形活か)   りゅうこうねこのきょうけんづくし よころほか   天保十二年(1841)   頃 川口屋手兵衛   144   欧川田芳   うたがらくによし   流行猫の狂言づくし(中国引ふか   りゅうこうねこのきょうけんづくし よころほか   天保十二年(1841)   頃 川口屋手兵衛   144   欧川田彦   うたがらいたによし   流行猫の狂言づくし(中国引ぶか)   ためきのりきふね   天保十二年(1841)   頃 川口屋手兵衛   145   欧川彦彦   うたがらなによし   流行猫の狂きび   ためきのうりすえ ためきのりきるね   天保十二年(1841)   頃 川口屋手兵衛   145   欧川彦彦   うたがらなによし   京衛衛   りゅうこうかいちょうけん   京保神   大阪元本野   日本のよいでは、京保神   日本のよいでは、京保神   日本のよいでは、京保神   日本のよいでは、京保神   日本のよいでは、京保神   日本のよいでは、京保神   大阪元本野   日本のよいでは、京保神   日本のよいでは、京保神   日本のよいでは、京保神   日本のよいには、京保神   日本のよいでは、京保神   日本 |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 127   欧川秀藤   うたがわよしふじ   もん尽  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 128  |          |               |                       |                 |                             |                   | ·                       |
| 130   無敗・作者末辞   一  | 128      | 歌川芳虎          |                       | 風流さや絵(花魁)       | ふうりゅうさやえ おいらん               | 嘉永二年(1849)        | 版元未詳                    |
| 131   皇原国周   とよはらくにちか  |          |               | _                     |                 |                             |                   |                         |
| 132   横洲周延   ようしゅうちかのぶ   (四谷怪談 蛇山庵室)   |          |               | -<br>                 |                 |                             |                   |                         |
| 133   秋川国利   うたがわくにとし   新板たとみ換絵   しんばんたたみかわりえ   明治   明治   明治   小林衆治郎   小本衆治郎   小太がわくによし   荷宝蔵壁のむき   未兼がみよう   小林永元年(1843頃   伊場屋地三郎   伊場屋地三郎   小林のおようとし   第永元年(1844)頃   伊場屋地三郎   小林のおくによし   流行猫の狂言づくし(中部はか) 小からごかはつきょうけんづくしよしろうほか   天保十二年(1841)頃   川口屋平兵衛   142   秋川国芳   うたがわくによし   流行猫の狂言づくし(中部保事が)   小からごかはつきょうけんづくしかいからよいないのとが、天保十二年(1841)頃   川口屋平兵衛   版元未詳   小林衆川国芳   うたがわくによし   徳の女は妻が生める   本のよいないのといる   大松からずからよる   大松からずからにまれ   徳元本(1843年)   小田産・第十日本のけいこ   小田産・第十日本のけいといる   小田産・1847頃   版元未詳   小田産・1847頃   本田産・1847頃   本田産・1847時末郎   小木のよりによるいくにはいからばまれ   小田産・1847頃   本田産・1847頃   本田 |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 134   欧川田利   うたがわくにとし   新板武者の折かわり絵   しんぱんむしゃのおりかわりえ   明治期   小林泰治郎   小林泰治郎   うたがわよしふじ   新板だる志順   しんぱんだるまたこ   元治元年(1864)八月   小林泰治郎   九元元年(1864)八月   小林泰治郎   九元からにかず   たこづし   たこづし   大正屋入助・久次郎   大七世相も米化しちやえ!戦回ワールド   一次のいたがらくかべのむだがき くろこしかべ   嘉永元年(1848)頃   伊場屋仙三郎   日本のいたがわくによし   荷宝蔵壁のむだ書(黒腰壁)   にたからぐらかべのむだがき さこしかべ   嘉永元年(1848)頃   伊場屋仙三郎   日本のいたがわくによし   荷宝蔵壁のむだ書(黄腰壁)   にたからぐらかべのむだがき きこしかべ   嘉永元年(1848)頃   伊場屋仙三郎   日本のいたがわくによし   名書か々   ききみようみょう   嘉永元年(1848)頃   野村屋徳兵衛   日本のいたがらによし   九がわくによし   九が初の田手まり   りゅうこうねこのきょくでまり   天保十二年(1841)頃   川口屋平兵衛   141   駅川国芳   うたがわくによし   流行猫の田言づくし(与四郎ほか)   りゅうこうねこのきょうげんづくし よしろうほか   天保十二年(1841)頃   川口屋平兵衛   142   駅川国芳   うたがわしろしげ   (きみだんご・こてりょうじ)   きみだんご・こてりようじ   エア後期   坂元末詳   日本のいちからいろかもくべえほか   天保十二年(1841)頃   川口屋平兵衛   143   駅川国芳   うたがわとよし   混行猫の狂言づくし(中郎氏体)   りゅうこうかいのきょうけんづくし いっすんと(べえほか   天保十二年(1841)頃   川口屋平兵衛   143   駅川国芳   うたがわびらによし   混の引きな   たぬきのうりすえ・ためきのひきふね   天保十四・弘化元年(1843-44)頃   坂元末詳   144   駅川国芳   うたがわくによし   「北田の日本会本盛   あそびはとりがつのにぎわい   慶応三年(1867)六月   山村金三郎   145   駅川国芳   うたがわくによし   日本のいちが良まるそび   弘化四年(1847)頃   佐娘   147   日本のいちがらくまし   日本のいちがらよう   日本の日本のもとび   弘化四年(1847)頃   佐娘   149   日本の川西本会は   140   駅川国芳   うたがわくによし   日本のいちがらよび   弘化四年(1847)頃   坂元末詳   143   日本のいちださき はいさくにまき   日本のいちがらよう   日本の日本会本   日本の日本会本会本   日本の日本会本会本   日本の日本会本会本   日本の日本会本会本会本会本   日本の日本会本会本会本会本   日本の日本会本会本会本   日本の日本会本会本会本会本会本会本会本会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 135   秋川芳藤   うたがわよしふじ   新板だるま風   しんぱんだるまたこ   元治元年(1864)八月   小林泰治郎   たこづくし   安政四年(1857)八月   近江屋久助・久次郎   たこづくし   安政四年(1857)八月   近江屋久助・久次郎   たこづくし   安政四年(1857)八月   近江屋久助・久次郎   たこづくし   安政四年(1857)八月   近江屋久助・久次郎   大がわくによし   荷宝蔵壁のむだ書(黒腰壁)   にたからぐらかべのむだがき くろこしかべ   嘉永元年(1848)頃   伊場屋仙三郎   日本のようかよう   カたがわくによし   荷宝蔵壁のむだ書(黄腰壁)   にたからぐらかべのむだがき きこしかべ   嘉永元年(1848)頃   伊場屋仙三郎   日本のようかよう   東永元年(1848)頃   伊場屋仙三郎   日本のようかよう   東永元年(1848)頃   野村屋信兵衛   日本のようかよう   東永元年(1848)頃   野村屋信兵衛   日本のようかよう   東永元年(1841)頃   田口屋宇兵衛   日本のようがわくによし   流行猫の狂言づくし(与四郎ほか)   りゅうこうねこのきょうげんづくし よしろうほか   天保十二年(1841)頃   田口屋宇兵衛   日本のよりがわくによし   流行猫の狂言づくし(与四郎ほか)   りゅうこうねこのきょうげんづくし しようほか   天保十二年(1841)頃   田口屋宇兵衛   日本のよりがわくによし   流行猫の狂言づくし(一寸徳兵衛ほか)   りゅうこうねこのきょうげんづくし しよしろうほか   天保十二年(1841)頃   田口屋宇兵衛   版元未詳   日本のよりがわくによし   埋のうりすへ・埋の引らね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四年(1843-44)頃   北日屋主郎   うたがわくによし   埋のうりすへ・埋の引らね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四年(1847)頃   版元未詳   日本のよりによし   南北のと「韓の引らね   本とびはとりどりかごのにぎわい   東応王年(1867)六月   山村金三郎   日本のよりにはているあるそび   弘化四年(1847)頃   佐銀   日本のよりにはているあるそび   弘化四年(1847)頃   佐銀   日本のよりにはているがより   日本のよりにはているがより頃   大郎   日本のよりにはているがより頃   大郎   日本のよりにはているがわいためまび   日本の日(1847)頃   佐銀   大のけいこ   弘化四年(1847)頃   広元未詳   日本のまのはさい   日本のよりによい   日本のよりによい   京本がわらとは   日本のよりによい   日本のまのはといているよりによいであるそび   日本の日(1871)頃   古賀(河)屋勝五郎   日本のまがまま   日本のまのはさい   日本のまのはなりによる   日本のよりによい   京本がわらとは   日本のよりによい   京本等   版元未詳   日本のよりによい   京本がわらひ   しんよしのよおおなまずゆらい   とばえ   江戸後期   版元未詳   日本のよりによいではまがにます   安成二年(1855)頃   版元未詳   日本のよりによいではまがにませ   日本のよりによいではまがにませ   日本のよりによいではまがにませ   日本のよりによいではまがにませ   日本のよりによいではまがにませ   日本のよりによいではまがにませ   日本のよりによいではまがにませ   日本のよりによいではまがにませ   日本のよりによいではまがにませ   日本のよりによいではませ   日本のよりによいではませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがによりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがによりにはませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにませ   日本のよりにはまがにはまがにはまがによりにはまがにはまがによりにはまがによりにはまがにはまがによりにはまがによりにはまがによりにはまがにはまがによりにはまがにはまがにはまがにはまがによりに |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 七 人も世相も茶化しちやえ! 歳回ワールド           137         欧川国芳         うたがわくによし         荷宝蔵壁のむだ書(黒腰壁)         にたからぐらかべのむだがき くろこしかべ         嘉永元年(1848)頃         伊場屋仙三郎           138         歌川国芳         うたがわくによし         荷宝蔵壁のむだ書(黄腰壁)         にたからぐらかべのむだがき きこしかべ         嘉永元年(1848)頃         伊場屋仙三郎           139         歌川国芳         うたがわくによし         流行猫の曲手まり         リゆうこうねこのきょうげんづくし よしろうほか         天保十二年(1841)頃         川口屋宇兵衛           141         歌川国芳         うたがわくによし         流行猫の狂言づくし(与四郎ほか)         リゆうこうねこのきょうげんづくし よしろうほか         天保十二年(1841)頃         川口屋宇兵衛           142         歌川国芳         うたがわくによし         流行猫の狂言づくし(与四郎ほか)         リゆうこうねこのきょうげんづくし よしろうほか         天保十二年(1841)頃         川口屋宇兵衛           143         歌川国芳         うたがわくによし         運の報の書のといたのよりまするといまった。といまった。といまるといまるといまるといまるといまるといまるといまるといまるといまるといまる  | 135      | 歌川芳藤          | うたがわよしふじ              | 新板だるま凧          | しんぱんだるまたこ                   |                   |                         |
| 137   歌川国芳   うたがわくによし   荷宝蔵壁のむだ書(黒腰壁)   にたからぐらかべのむだがき くろこしかべ   嘉永元年(1848)頃   伊場屋仙三郎   138   歌川国芳   うたがわくによし   荷宝蔵壁のむだ書(黄腰壁)   にたからぐらかべのむだがき きこしかべ   嘉永元年(1848)頃   伊場屋仙三郎   139   歌川国芳   うたがわくによし   亀喜妙々   ききみょうみょう   |          |               |                       |                 | たこづくし                       | 安政四年(1857)八月      | 近江屋久助・久次郎               |
| 138 歌川国芳   うたがわくによし   荷宝蔵壁のむだ書(黄腰壁)   にたからぐらかべのむだがき きこしかべ   嘉永元年(1848)頃   伊場屋仙三郎   139 歌川国芳   うたがわくによし   亀喜炒々   ききみょうみょう   嘉永元年(1848)頃   野村屋徳兵衛   140 歌川国芳   うたがわくによし   流行猫の曲手まり   りゅうこうねこのきょくでまり   天保十二年(1841)頃   川口屋宇兵衛   141 歌川国芳   うたがわくによし   流行猫の狂言づくし(与四郎ほか)   りゅうこうねこのきょうげんづくし よしろうぼか   天保十二年(1841)頃   川口屋宇兵衛   142 歌川国芳   うたがわびらしげ   (きみだんご・こでりょうじ)   きみだんご・こでりょうじ   さみだんご・こでりょうじ   江戸後期   版元未詳   144 歌川国芳   うたがわびらしげ   (きみだんご・こでりょうじ)   きみだんご・こでりょうじ   さみだんご・こでりょうじ   江戸後期   版元未詳   145 歌川芳藤   うたがわばらよし   狸のうりすへ・狸の引ふね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四・弘化元年(1843-44)頃   上総屋岩蔵   145 歌川芳藤   うたがわばらよし   狸のうりすへ・狸の引ふね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四・弘化元年(1847)項   上総屋岩蔵   146 歌川国芳   うたがわばらよし   相かいらず蛙あそび   あんごくけん   第永二年(1847)頃   佐銀   148 (無款・作者未詳)   けんのけいこ   けんのけいこ   けんのけいこ   弘化四年(1847)頃   版元未詳   149   本で 即四国(4871)頃   西宮(1847)頃   五曜年(1847)頃   五曜年(1847)頃   五曜年(1847)頃   五曜年(1847)頃   五曜年(1847)頃   五曜年(1847)頃   149   日間本(1847)頃   五曜年(1847)頃   149   日間本(1847)頃   150   150   日間本(1847)頃   150   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 139   歌川国芳   うたがわくによし   亀喜妙々   ききみょうみょう   嘉永元年(1848)頃   野村屋徳兵衛   140   歌川国芳   うたがわくによし   流行猫の曲手まり   りゅうこうねこのきょくてまり   天保十二年(1841)頃   川口屋宇兵衛   141   歌川国芳   うたがわくによし   流行猫の狂言づくし(与四郎ほか)   りゅうこうねこのきょうげんづくし よしろうほか   天保十二年(1841)頃   川口屋宇兵衛   142   歌川国芳   うたがわひろしげ   (きみだんご・こてりょうじ)   きみだんご・こてりょうじ   さみだんご・こてりょうじ   さみだんご・こてりょうじ   さみだんご・こてりょうじ   さみだんご・こてりょうじ   さみだんご・こてりょうじ   大阪神田   143   歌川広重   うたがわひろしげ   (きみだんご・なりら)は   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四一弘化元年(1843-44)頃   上総屋岩蔵   145   歌川国芳   うたがわくによし   狸のうりすへ・狸の引ふね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四一弘化元年(1843-44)頃   上総屋岩蔵   145   歌川国芳   うたがわくによし   稲かいらず蛙あそび   あといかわらずかいるあそび   弘化四年(1847)頃   佐銀   146   歌川国芳   うたがわくによし   相かいらず蛙あそび   あいかわらずかいるあそび   弘化四年(1847)頃   佐銀   148   (無款・作者未詳)   けんのけいこ   けんのけいこ   けんのけいこ   以他四年(1847)頃   五田屋き   148   (無款・作者未詳)   日帯夜行   ひゃきやぎょう   慶応元年(1867)九月   岐阜屋清七   151   葛飾北斎   かつしかほくさい   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   152   歌川広重   うたがわるしげ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   152   歌川広重   きたがわうたまろ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   155   (無款・作者未詳)   しんよし原大なまづゆらひ   しんよしわらおおなまずゆらい   安政二年(1855)頃   版元未詳   155   (無款・作者未詳)   しんとし原大なまづゆらひ   しんよしわらおおなまずめらい   公本の一嘉永五年(1847-52)頃   彫元未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四-嘉永五年(1847-52)頃   彫元未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四-嘉永五年(1847-52)頃   彫元未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四-嘉永五年(1847-52)頃   彫正  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 140   歌川国芳   うたがわくによし   流行猫の曲手まり   りゅうこうねこのきょくてまり   天保十二年(1841)頃   川口屋宇兵衛   141   歌川国芳   うたがわくによし   流行猫の狂言づくし(与四郎ほか)   りゅうこうねこのきょうげんづくし よしろうほか   天保十二年(1841)頃   川口屋宇兵衛   142   歌川国芳   うたがわひろしげ   (きみだんご・こてりょうじ)   きみだんご・こてりょうじ   江戸後期   比応是   比応書の引いす・・建の引いね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四一弘化元年(1843-44)頃   上総屋岩蔵   北京藤   うたがわなろによし   理のうりすへ・理の引いね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四一弘化元年(1843-44)頃   上総屋岩蔵   北京藤   うたがわくによし   埋のうりすへ・建の引いね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四一弘化元年(1843-44)頃   上総屋岩蔵   北京藤   うたがわくによし   相かいらず蛙あそび   あいかわらずかいるあそび   弘化四年(1847)頃   佐銀   148   (無軟・作者未詳)   「けんのけいこ   けんのけいこ   は、一日本のけいこ   は、一日本のけいこ   は、一日本のけいこ   は、一日本のけいこ   は、一日本のけいこ   は、一日本のけいこ   近のけいこ   近のけいこ   近のけいこ   近のけいこ   近んのけいこ   近のけいこ   近の時に(1847)頃   万章(河)屋勝五郎   150   月岡芳年   つきおかよしとし   百器夜行   ひゃきやぎょう   慶応元年(1865)九月   岐阜屋清七   151   第節北斎   かつしかほくさい   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   152   歌川広重   うたがわひしげ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   153   二年後月歌館   きたがわうたまろ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   154   (無軟・作者未詳)   しんよし原大なまづゆらひ   しんよしわらおおなまずゆらい   女政二年(1855)頃   版元未詳   155   (無軟・作者未詳)   (信州絵と江戸絵)   しんよしのうなまずとえどなまず   女政二年(1855)頃   版元未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四-嘉永五年(1847-52)頃   彫正   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 141   歌川国芳   うたがわくによし   流行猫の狂言づくし(与四郎ほか)   りゅうこうねこのきょうげんづくし よしろうほか   天保十二年(1841)頃   川口屋宇兵衛   142   歌川国芳   うたがわくによし   流行猫の狂言づくし(一寸徳兵衛ほか)   りゅうこうねこのきょうげんづくし いっすんとくべえほか   天保十二年(1841)頃   川口屋宇兵衛   143   歌川広重   うたがわひろしげ   (きみだんご・こでりょうじ)   きみだんご・こでりょうじ   江戸後期   版元未詳   144   歌川国芳   うたがわくによし   狸のうりすへ・狸の引ふね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四一弘化元年(1843-44)頃   上総屋岩蔵   145   歌川国芳   うたがわくによし   狸のうりすへ・狸の引ふね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四一弘化元年(1843-44)頃   上総屋岩蔵   3たがわくによし   相かいらず蛙あそび   あそびはとりどりかごのにぎわい   慶応三年(1867)六月   山村金三郎   146   歌川国芳   うたがわくによし   三國拳   さんごくけん   嘉永二年(1849)頃   太田屋多吉   148   (無款・作者未詳)   「けんのけいこ   けんのけいこ   けんのけいこ   はいどうにきま   流行開帳拳   りゅうこうかいちょうけん   明治四年(1871)頃   古賀(河)屋勝五郎   150   月岡芳年   つきおかよしとし   百器衣行   ひゃきやぎょう   慶応元年(1865)九月   岐阜屋清七   151   葛飾北斎   かつしかぼくさい   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   152   歌川広重   うたがわひろしげ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   154   (無款・作者未詳)   しんよし原大なまづゆらひ   しんよしわらおおなまずゆらい   安政二年(1855)頃   版元未詳   155   (無款・作者未詳)   (信州鯰と江戸鯰)   しんしゅうなまずとえどなまず   安政二年(1855)頃   版元未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四一嘉永五年(1847-52)頃   彫正  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 142   歌川国芳   うたがわくによし   流行猫の狂言づくし(一寸徳兵衛ほか)   りゅうこうねこのきょうげんづくし いっすんとくべえほか   天保十二年(1841)頃   川口屋宇兵衛   143   歌川広重   うたがわひろしげ   (きみだんご・こてりょうじ)   きみだんご・こてりょうじ   江戸後期   版元未詳   144   歌川国芳   うたがわくによし   狸のうりすへ・狸の引ふね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四一弘化元年(1843-44)頃   上総屋岩蔵   145   歌川国芳   うたがわくによし   廓通色々青楼全盛   あそびはとりどりかごのにぎわい   慶応三年(1867)六月   山村金三郎   147   歌川国芳   うたがわくによし   古郷   147   歌川国芳   うたがわくによし   三國拳   さんごくけん   恵元未詳   148   (無款・作者未詳)   けんのけいこ   けんのけいこ   けんのけいこ   以四年(1847)頃   版元未詳   149   三代 歌川国原(橋室園歌)   うたがわくにさだ ばいどうにまさ   流行開帳拳   りゅうこうかいちょうけん   明治四年(1871)頃   古賀(河)屋勝五郎   150   月岡芳年   つきおかよしとし   百器夜行   ひゃきやぎょう   慶応元年(1865)九月   岐阜屋清七   151   葛飾北斎   かつしかぼくさい   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   152   歌川広重   うたがわひろしげ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   153   二代 喜夕川歌麿   きたがわうたまろ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   154   (無款・作者未詳)   しんよし原大なまづゆらひ   しんよしわらおおなまずゆらい   安政二年(1855)頃   版元未詳   155   (無款・作者未詳)   (信州鯰と江戸鯰)   しんしゆうなまずとえどなまず   安政二年(1855)頃   版元未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四-嘉永五年(1847-52)頃   彫正未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四-嘉永五年(1847-52)頃   彫正   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 144   歌川国芳   うたがわくによし   狸のうりすへ・狸の引ふね   たぬきのうりすえ・たぬきのひきふね   天保十四一弘化元年(1843-44)頃   上総屋岩蔵   145   歌川芳藤   うたがわよしふじ   廓通色々青楼全盛   あそびはとりどりかごのにぎわい   慶応三年(1867)六月   山村金三郎   146   歌川国芳   うたがわくによし   相かハらず蛙あそび   あいかわらずかいるあそび   弘化四年(1847)頃   佐銀   147   歌川国芳   うたがわくによし   三國拳   さんごくけん   嘉永二年(1849)頃   太田屋多吉   148   (無款・作者未詳)   けんのけいこ   けんのけいこ   弘化四年(1847)頃   版元未詳   149   三代歌川国貞(梅堂国歌)   うたがわくにきだ ばいどうくにまさ   流行開帳拳   りゅうこうかいちょうけん   明治四年(1871)頃   古賀(河)屋勝五郎   150   月岡芳年   つきおかよしと   百器夜行   ひゃきやぎょう   慶応元年(1865)九月   岐阜屋清七   151   葛飾北斎   かつしかほくさい   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   152   歌川広重   うたがわひろしげ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   153   二代 喜多川歌麿   きたがわうたまろ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   154   (無款・作者未詳)   しんよし原大なまづゆらひ   しんよしわらおおなまずゆらい   安政二年(1855)頃   版元未詳   155   (無款・作者未詳)   しんよし原大なまづゆらひ   しんしゅうなまずとえどなまず   安政二年(1855)頃   版元未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四-嘉永五年(1847-52)頃   彫正   | 142      | 歌川国芳          |                       |                 | りゅうこうねこのきょうげんづくし いっすんとくべえほか |                   |                         |
| 145 歌川芳藤   うたがわよしふじ   廓通色々青楼全盛   あそびはとりどりかごのにぎわい   慶応三年(1867)六月   山村金三郎   146 歌川国芳   うたがわくによし   相かハらず蛙あそび   あいかわらずかいるあそび   弘化四年(1847)頃   佐銀   147 歌川国芳   うたがわくによし   三國拳   さんごくけん   嘉永二年(1849)頃   太田屋多吉   148 (無款・作者未詳)   けんのけいこ   けんのけいこ   弘化四年(1847)頃   版元未詳   149   三代歌川国貞(梅堂園政)   うたがわくにさだ ばいどうくにまさ   流行開帳拳   りゅうこうかいちょうけん   明治四年(1871)頃   古賀(河)屋勝五郎   150 月岡芳年   つきおかよしとし   百器夜行   ひゃきやぎょう   慶応元年(1865)九月   岐阜屋清七   151   葛飾北斎   かつしかぼくさい   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   152 歌川広重   うたがわひろしげ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   153 二代喜多川歌麿   きたがわうたまろ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   154 (無款・作者未詳)   しんよし原大なまづゆらひ   しんよしわらおおなまずゆらい   安政二年(1855)頃   版元未詳   155 (無款・作者未詳)   (信州鯰と江戸鯰)   しんしゅうなまずとえどなまず   安政二年(1855)頃   版元未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四-嘉永五年(1847-52)頃   彫正   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 146歌川国芳うたがわくによし相かハらず蛙あそびあいかわらずかいるあそび弘化四年(1847)頃佐銀147歌川国芳うたがわくによし三國拳さんごくけん嘉永二年(1849)頃太田屋多吉148(無款・作者未詳) -けんのけいこけんのけいこ弘化四年(1847)頃版元未詳150月岡芳年つきおかよしとし百器夜行ひゃきやぎょう慶応元年(1865)九月岐阜屋清七151葛飾北斎かつしかほくさい(鳥羽絵)とばえ江戸後期版元未詳152歌川広重うたがわひろしげ(鳥羽絵)とばえ江戸後期版元未詳153二代喜多川歌麿きたがわうたまろ(鳥羽絵)とばえ江戸後期版元未詳154(無款・作者未詳) -しんよし原大なまづゆらひしんよしわらおおなまずゆらい安政二年(1855)頃版元未詳155(無款・作者未詳) -(信州鯰と江戸鯰)しんしゅうなまずとえどなまず安政二年(1855)頃版元未詳156歌川国芳うたがわくによし朝比奈小人嶋遊あさいなこびとじまあそび弘化四-嘉永五年(1847-52)頃彫正   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 147   歌川国芳   うたがわくによし   三國拳   さんごくけん   嘉永二年(1849)頃   太田屋多吉   148 (無款・作者未詳) -   けんのけいこ   けんのけいこ   切めうこうかいちょうけん   明治四年(1847)頃   版元未詳   149   三代歌川国貞(梅堂国歌)   うたがわくにきだ ばいどうくにまさ   流行開帳拳   りゆうこうかいちょうけん   明治四年(1871)頃   古賀(河)屋勝五郎   150   月岡芳年   つきおかよしとし   百器夜行   ひゃきやぎょう   慶応元年(1865)九月   岐阜屋清七   151   葛飾北斎   かつしかほくさい   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   152   歌川広重   うたがわひろしげ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   153   二代喜多川歌麿   きたがわうたまろ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   154   (無款・作者未詳)   しんよし原大なまづゆらひ   しんよしわらおおなまずゆらい   安政二年(1855)頃   版元未詳   155   (無款・作者未詳)   (信州鯰と江戸鯰)   しんしゅうなまずとえどなまず   安政二年(1855)頃   版元未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四-嘉永五年(1847-52)頃   彫正  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 148 (無款・作者未詳)  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 149   三代歌川国貞(梅堂国政)   うたがわくにまだ ぱいどうくにまさ   流行開帳拳   りゅうこうかいちょうけん   明治四年(1871)頃   古賀(河)屋勝五郎   150   月岡芳年   つきおかよしとし   百器夜行   ひゃきやぎょう   慶応元年(1865)九月   岐阜屋清七   151   葛飾北斎   かつしかほくさい   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   152   歌川広重   うたがわひろしげ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   153   二代喜多川歌麿   きたがわうたまろ   (鳥羽絵)   とばえ   江戸後期   版元未詳   154   (無款・作者未詳)   しんよし原大なまづゆらひ   しんよしわらおおなまずゆらい   安政二年(1855)頃   版元未詳   155   (無款・作者未詳)   (信州鯰と江戸鯰)   しんしゅうなまずとえどなまず   安政二年(1855)頃   版元未詳   156   歌川国芳   うたがわくによし   朝比奈小人嶋遊   あさいなこびとじまあそび   弘化四-嘉永五年(1847-52)頃   彫正   |          |               | -                     |                 |                             |                   |                         |
| 151葛飾北斎かつしかほくさい(鳥羽絵)とばえ江戸後期版元未詳152歌川広重うたがわひろしげ(鳥羽絵)とばえ江戸後期版元未詳153二代喜多川歌麿 きたがわうたまろ(鳥羽絵)とばえ江戸後期版元未詳154(無款・作者未詳)しんよし原大なまづゆらひしんよしわらおおなまずゆらい安政二年(1855)頃版元未詳155(無款・作者未詳)しんしゆうなまずとえどなまず安政二年(1855)頃版元未詳156歌川国芳うたがわくによし朝比奈小人嶋遊あさいなこびとじまあそび弘化四-嘉永五年(1847-52)頃彫正  | 149      | 三代 歌川国貞(梅堂国政) | うたがわくにさだ ばいどうくにまさ     | 流行開帳拳           |                             | 明治四年(1871)頃       | 古賀(河)屋勝五郎               |
| 152歌川広重うたがわひろしげ(鳥羽絵)とばえ江戸後期版元未詳153二代 喜多川歌麿 きたがわうたまろ(鳥羽絵)とばえ江戸後期版元未詳154(無款・作者未詳) ーしんよし原大なまづゆらひしんよしわらおおなまずゆらい安政二年(1855)頃版元未詳155(無款・作者未詳) ー(信州鯰と江戸鯰)しんしゅうなまずとえどなまず安政二年(1855)頃版元未詳156歌川国芳うたがわくによし朝比奈小人嶋遊あさいなこびとじまあそび弘化四-嘉永五年(1847-52)頃彫正   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 153二代 喜多川歌麿きたがわうたまろ(鳥羽絵)とばえ江戸後期版元未詳154(無款・作者未詳)しんよし原大なまづゆらひしんよしわらおおなまずゆらい安政二年(1855)頃版元未詳155(無款・作者未詳)(信州鯰と江戸鯰)しんしゅうなまずとえどなまず安政二年(1855)頃版元未詳156歌川国芳うたがわくによし朝比奈小人嶋遊あさいなこびとじまあそび弘化四-嘉永五年(1847-52)頃彫正   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 154 (無款・作者未詳)一しんよし原大なまづゆらひしんよしわらおおなまずゆらい安政二年(1855)頃版元未詳155 (無款・作者未詳)一(信州鯰と江戸鯰)しんしゅうなまずとえどなまず安政二年(1855)頃版元未詳156 歌川国芳うたがわくによし朝比奈小人嶋遊あさいなこびとじまあそび弘化四-嘉永五年(1847-52)頃彫正   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 155 (無款・作者未詳)-(信州鯰と江戸鯰)しんしゅうなまずとえどなまず安政二年(1855)頃版元未詳156 歌川国芳うたがわくによし朝比奈小人嶋遊あさいなこびとじまあそび弘化四-嘉永五年(1847-52)頃彫正  |          |               | -                     |                 |                             |                   |                         |
| 156         歌川国芳         うたがわくによし         朝比奈小人嶋遊         あさいなこびとじまあそび         弘化四-嘉永五年(1847-52)頃         彫正   |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
| 157   歌川貞秀   うたがわさだひで   朝比奈島遊び   あさいなしまあそび   万延元年(1860)閏三月   山田屋庄次郎  |          |               |                       |                 |                             |                   |                         |
|  | 157      | 歌川貞秀          | うたがわさだひで              | 朝比奈島遊び          | あさいなしまあそび                   | 万延元年(1860)閏三月     | 山田屋庄次郎                  |